

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	408C	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：408C

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：505C

フレアーの幅 インチ

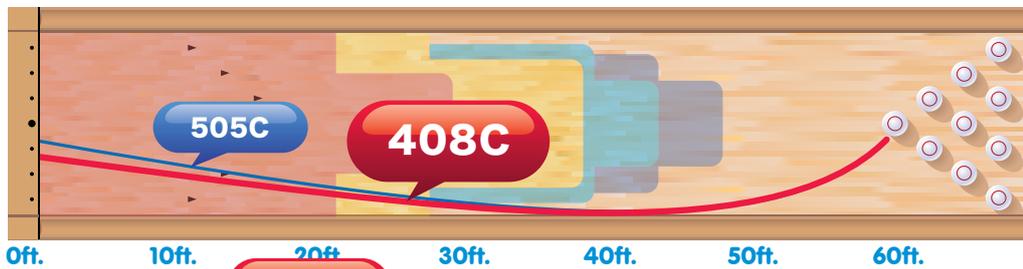
PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

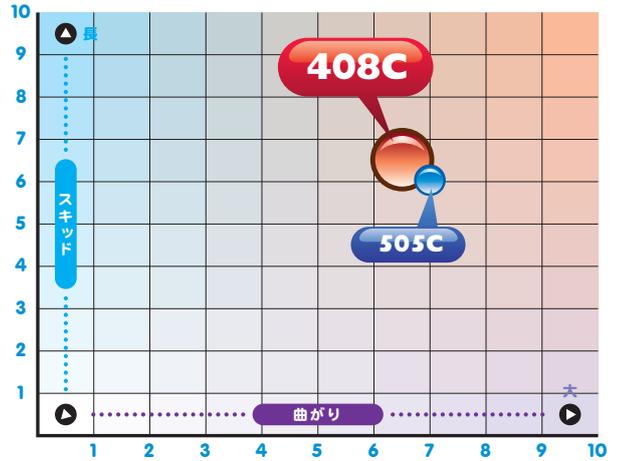
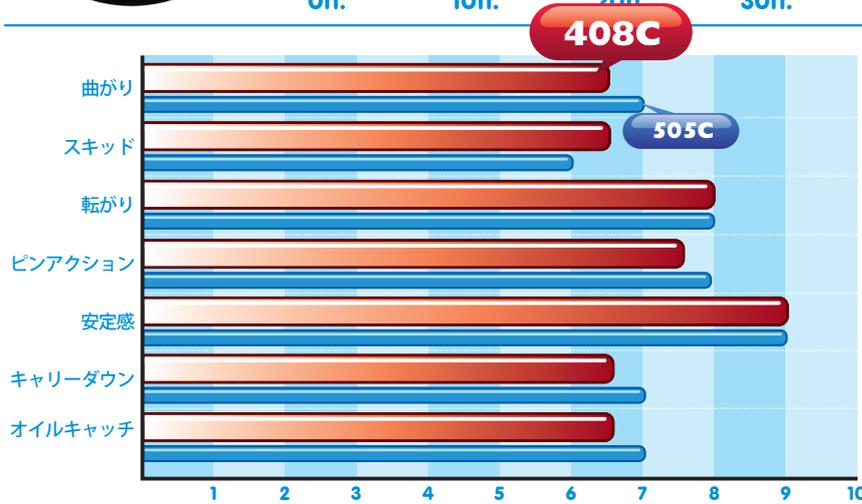
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンダス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

トラック社のナンバー表記による性能の分類。9・7・5、T・A・Cの組み合わせはカバーストックの強さとリアクション性能をナンバーで表し、分かり易く尚且つパフォーマンスの違いは多くの人々に受け入れられました。中でも”505C”は再販に再販を重ね、今を持ってしても505Cを探している方も多く、爆発的なヒットとなった性能でありました。

505C発売から数ヶ月、ABSプロスタッフを含め多くのユーザーから”5”シリーズよりも”走る”性能の依頼が多く、ABS開発チームは505CのShuttleコアを使い、数多くのテストを重ねてきました。505Cの高いスペックを維持しながら”4”という走りを実現すること。カバーストックの強さ”4”、マスパイアスティファレンシャル”08”、コントロール性能”C”の408Cの発売です。

走るボールに見られる淡白な硬いイメージのピンアクションやバックエンドのフィニッシュの甘さなど、ただ走るイメージのボールではなく、408Cは如何に505Cのイメージを持ちながら走りを加え、505Cの後に使用できるかを走りと曲がり、ピンアクションに至るまでトータルバランスを含め高いレベルで吟味されて作られました。またその高いスペックでありながらお求めやすい価格帯を実現すること。より多くの方にご使用頂けるように設定したのもこの”4”シリーズに課せられた使命です。

505Cを気に入って使用して頂いた方、また”5”シリーズよりも走るバージョンを持ち望んでいた方、505Cのみならずキネティックでも使用されているShuttleコアが生み出す安定した軌道を408Cとして試すときがきました。

特記事項

505C、キネティックで定評のShuttleコア、UMP GEN 1 Pearlカバーストックの組み合わせは505Cのリアクション性能をそのままに走り感を加え、多くの人々に受け入れられるでしょう。